

「読書ボランティア人材養成講座」を通じた若者の

ボランティア人材発掘・育成

(1)学生をターゲットとした取組（令和4年度）

令和4年度 読書ボランティア人材養成講座の開講

○日程

	日付	時間	場所
第1回	11月19日(土)	10:30 ~12:00	市立図書館 3階大会議室
第2回	12月3日(土)		
第3回	12月11日(日)		

○申込者数 29名(内 受講者数 24名)

年代	人数	割合
10代	0	0%
20代	1	4%
30代	0	0%
40代	5	21%
50代	5	21%
60代	4	16%
70代	9	38%
合計	24	

○各回の受講者数

	第1回	第2回	第3回
人数	20名	24名	22名

○各回の内容と講座の様子

第1回 11月19日(土)

- ・読み聞かせの方法
- ・読み聞かせの事前準備について



第2回 12月3日(土)

- ・読み聞かせワークショップ（絵本の開き方・声の出し方など）



第3回 12月11日(日)

・読み聞かせ発表会



座談会



山口委員長の呼びかけで第2回、第3回の養成講座の終了後に、受講生の有志が参加する交流の時間が設けられた。当日の講座の内容や、講座修了後に取組んでみたい活動などについて話し合われた。

第2回目

社会教育委員も参加し、昨年度の養成講座修了生が取組んでいる活動などについて紹介いただいた。

第3回目

修了生の会の様子を聞く声や、交流会の開催の要望など、積極的な発言がみられた。座談会終了後に受講生同士で自発的な集まりができていた。(高齢者向けの読み聞かせをしたいと発言した受講生に賛同して、数名の受講生が集まっていた)

(2)子育て世代をターゲットとした取組（令和5年度）

令和5年度 読書ボランティア人材養成講座の開講

【平日コース】

○日程

	日付	時間	場所
第1回	10月27日（金）	10:00	市民交流プラザ5階 小会議室2
第2回	11月10日（金）	～11:30	市民交流プラザ5階 大会議室

○申込者数 24名

年代	人数	割合
10代	0	0
20代	0	0
30代	6	25%
40代	8	34%
50代	2	8%
60代	6	25%
70代	2	8%
合計	24	

【第1回目】

夜間コースに振替 1名（1回目の講座のみ）

欠席者 1名

出席者 22名

【第2回目】

夜間コースに振替 1名（2回目の講座のみ）

欠席者 2名

出席者 21名

○各回の受講者数

	第1回	第2回
人数	22名	21名

○平日コースの内容と受講者の状況等

第1回 10月27日(金)

【内容と講座の様子】

- ・読み聞かせの方法
- ・読み聞かせの事前準備について

図書館長、司書から、絵本の読み聞かせの方法について解説（別添資料参照）読み聞かせに適した絵本と適さない絵本の違いや、絵本の持ち方、ページのめくり方、声の出し方など、きめ細かな解説により、大きく頷く受講者の姿が見て取れた。



【受講者の状況等】

講座募集時には、10名程度の参加者を想定していたが、当コースには24名の申込みがあり、部屋の収容人数に余裕があったため、申込者全員を受け入れることができた。

24名中、23名は初受講、1名が過去の読書ボランティア人材養成講座受講者であった。

託児利用者は2名（0歳、1歳）

小学校やこども園等で読み聞かせ活動中の方は13名であった。

第2回 11月10日(金)

【内容と講座の様子】

- ・第1回講座のおさらい（絵本の選び方、持ち方、開き方、声の出し方など）
- ・読み聞かせ発表会（一人ずつ、受講者の前で読み聞かせを行う。）



絵本の開き方の指導



声の出し方の指導



緊張の発表会



講座の講評の様子

【受講者の状況等】

平日午前は、受講者が多いため、2手に分かれての指導、発表会とした。第1回目の講座を思い出しながら、一人一人が読み聞かせの発表を行う実践形式での講座であった。

読み聞かせ発表では、読み手と聴き手が一体となり、和やかな雰囲気を進めていただいた。ある受講者は「緊張した」と言っていたが、読み終えた満足感とともに、一步を踏み出せた達成感も感じてもらったものと考えている。

講座修了後も、講師へ質問する姿が見られ、「受講して良かった」との声も聞かれた。

【夜間コース】

○日程

	日付	時間	場所
第1回	10月27日(金)	19:00	市民交流プラザ5階 小会議室5
第2回	11月10日(金)	~20:30	市民交流プラザ5階 大会議室

○申込者数 10名

年代	人数	割合
10代	0	0%
20代	1	10%
30代	0	0%
40代	5	50%
50代	2	20%
60代	2	20%
70代	0	0%
合計	10	

【第1回目】

平日コースから振替 1名(1回目の講座のみ)
 休日コースに振替 1名(1回目の講座のみ)
 欠席者 0名
 出席者 10名

【第2回目】

欠席者 0名
 出席者 11名

○各回の受講者数

	第1回	第2回
人数	10名	11名

夜間コースの内容と受講者の状況等

第1回 10月27日(金)

【内容と講座の様子】

- ・読み聞かせの方法
 - ・読み聞かせの事前準備について
- 講座内容は、平日コース、休日コースと同様



【受講者の状況等】

- ・夜間コースは10名程度の参加者を想定し、10名の申込み
- ・平日コースから1名振替あり。(1回目の講座のみ)
- ・参加者10名中、9名は初受講、1名が過去の読書ボランティア人材養成講座受講者であった。
- ・託児利用者は0名
- ・小学校やこども園等で読み聞かせ活動中の方は3名

第2回 11月10日(金)

【内容と講座の様子】

- ・第1回講座のおさらい（絵本の選び方、持ち方、開き方、声の出し方など）
- ・読み聞かせ発表会（一人ずつ、受講者の前で読み聞かせを行う。）

講座内容は、平日コース、休日コースと同様



絵本の持ち方のおさらい



声の出し方の指導



発表会の様子



講座の講評

【受講者の状況等】

平日コースと同様、第1回目の講座のおさらいの後、一人一人が読み聞かせの発表を行う実践形式での講座を行った。

読み聞かせ発表では、これまでの学習成果を発揮し、どの受講者も楽し気に絵本を読み聞かせる姿が印象的であった。

講座修了後に、受講者同士が連絡先を交換する姿も見られ、当講座が交流の場として機能していることも分かった。

【休日コース】

○日程

	日付	時間	場所
第1回	10月29日(日)	10:00	市民交流プラザ5階 小会議室2
第2回	11月12日(日)	~11:30	市民交流プラザ5階 中会議室

○申込者数 10名

年代	人数	割合
10代	1	10%
20代	1	10%
30代	0	0%
40代	3	30%
50代	2	20%
60代	3	30%
70代	0	0%
合計	10	

【第1回目】

夜間コースから振替 1名(1回目の講座のみ)

欠席者 3名

参加者 8名

【第2回目】

欠席者 4名

参加者 6名

○各回の受講者数

	第1回	第2回
人数	8名	6名

休日コースの内容と受講者の状況等

第1回 10月29日(日)

【内容と講座の様子】

- ・読み聞かせの方法
 - ・読み聞かせの事前準備について
- 講座内容は、平日コース、夜間コースと同様



【受講者の状況等】

- ・休日コースは10名程度の参加者を想定し、当初10名の申込み
- ・夜間コースからの振替え1名
- ・10名全て初受講
- ・他のコースに比べ、欠席者が多かった。(体調不良など)
- ・託児利用者は1名(1歳)
- ・小学校やこども園等で読み聞かせ活動中の方は3名

第2回 11月12日(日)

【内容と講座の様子】

- ・第1回講座のおさらい（絵本の選び方、持ち方、開き方、声の出し方など）
- ・読み聞かせ発表会（一人ずつ、受講者の前で読み聞かせを行う。）

講座内容は、平日コース、夜間コースと同様



第1回目のおさらい



声の出し方の指導



発表会の様子



講座の講評

【受講者の状況等】

他のコースと同様、第1回目の講座のおさらいの後、一人一人が読み聞かせの発表を行う実践形式での講座を行った。

少人数での講座であるため、一人一人に目が行き届き、きめ細やかな指導が可能となり、各受講者の満足度も高いものであったと思われる。

発表会でも、緊張しつつも、楽しそうに読む受講者の姿、また、それを聞く受講者も絵本の世界に入り込み、一体感のある講座となった。

(3) 講座開催の結果について

1) 受講者数

- ・若者世代の受講者が増加し、40歳代も大きく増加した。

令和4年度	20代 1名	⇒	令和5年度	20代 2名
	30代 0名			30代 6名
	40代 5名			40代 16名
	50代 5名			50代 6名
	60代 4名			60代 10名
	70代 9名			70代 2名
	計 24名			計 42名

2) 令和5年度修了者の活動への意欲（20代～40代 24名中）

- ・修了生の会入会希望者 12名
- ・フレンドマート読み聞かせ希望者 4名
- ・ぽかぽかタウン読み聞かせ希望者 10名

3) 講座開催からわかったこと（アンケート結果参照）

- ・日時のバリエーションを増やすことで、様々なライフスタイルとニーズに対応でき、より多くの人を学びにつなげることができる。
- ・学ぶ意欲のある人は、アンテナを張って、学習情報を収集している。
- ・学びの場に参加する人は、自身の成長やスキルアップを望んでいる。
- ・学びの場に参加する人は、学んだことを活かして活動する意欲が高い。
- ・申込みの8割以上が電子申請であり、学びの場に参加する人の多くが、電子媒体を利用している。